

SAFとは、**持続可能な航空燃料 (Sustainable Aviation Fuel)**の頭文字。

- ◆ 従来のジェット燃料が原油から精製されるのに対して、廃食油、サトウキビなどのバイオマス燃料や、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産される。
- ◆ **廃棄物や再生エネルギーが原料**のため、ジェット燃料と比較して**約60～80%のCO₂削減効果**がある。
- ◆ 航空分野では、**CO₂削減に最も効果が高い**とされており、今後は**SAFの利用が必要不可欠**。

ただし、、、

- 現在、世界のSAF供給量(2020年)は約6.3万kl(世界のジェット燃料供給量の**0.03%**)
- 一方、我が国で2030年に必要なSAF量(国交省試算)は外航分を含み約170万klを見込む(参考:2019年ジェット燃料約890万kl)



このままでは、**世界的にも圧倒的にSAFの生産量が不足**。

- 原料・生産方法が様々であり、従来の航空関係者ではないプレーヤーも多数参入。
- 生産には膨大な投資コストが必要。生産者・利用者での調整が重要。